

東京*i*CDC

COVIREGI-JP
東京都データ

COVID-19 に関するレジストリ研究の概要

目的	本邦におけるCOVID-19患者の臨床像及び疫学的動向を明らかにする
対象	COVID-19と診断され、医療機関において入院管理されている症例
期間	2020年1月～ 現在
解析・ 検討内容	<ul style="list-style-type: none">・ COVID-19の臨床像、経過、予後・ 重症化危険因子の探索・ 薬剤投与症例の経過と安全性
寄与	<ul style="list-style-type: none">・ 将来の予防法・治療法の開発などの際に活用可能な基礎データとなる。

厚生労働省科学研究費「COVID-19に関するレジストリ研究」：代表者 大曲貴夫



(<https://covid-registry.ncgm.go.jp>)

ログイン

研究について ▾ 参加方法 ▾ 研究計画書・その他資料 ▾ データ利用について ▾ 情報公開 ▾ Q&A ▾ お問い合わせ・リンク ▾

COVID-19に関するレジストリ研究

COVID-19 REGISTRY JAPAN

このサイトは、日本全国の医療機関に入院されたCOVID-19患者さんの情報を収集し、病気の特徴や経過などの様々な点について明らかにすることを目的とするCOVID-19レジストリの研究について情報公開をしています。

<レジストリ進捗状況> 2020年11月12日時点

研究参加施設：821施設 レジストリ登録症例数：13,814症例

COVID-19 レジストリ研究 Webサイト

2020年4月開設

研究について、一般・参加施設へ情報提供
(研究概要、研究体制、情報公開文書、
研究成果、Q&Aなど)

COVID-19 レジストリ研究 本データの注意点

- ・ 11月1日までに登録されたデータを利用し、**登録開始日～9月30日**までに発症した症例を対象とした。**全国10,728例**（男6,362、女4,350、不明・その他16）、**東京都2,790例**（男1,710、女1,074、不明・その他6）であった。
- ・ 本資料では、**登録開始日～5月31日を第1波、6月1日～9月30日を第2波**と定義した。
- ・ **重症度は東京都と同じ定義**を用いた。
参考)
軽症　：中等症・重症以外
中等症　：入院中に酸素が必要であった症例
重症　：入院中に挿管・ECMO（体外式膜型人工肺）が必要であった症例
- ・ 退院が完了した症例からデータの登録を行うため、直近の症例の中でも**入院が長期化している症例は含まれていない**。
- ・ COVIREGI-JP東京都データは、東京都保有データに比して、**年齢が高く、男性が多く、致死率が高い**データである。
- ・ 欠損値など対象症例のクエリ対応中項目は、不明として含めている。

症状出現日別登録数（全国・東京都）

- ・全国の登録症例数のうち東京都は約26%を占めている。
- ・全国、東京都ともに、第1波に比して第2波は中等症・重症患者が少なかった。



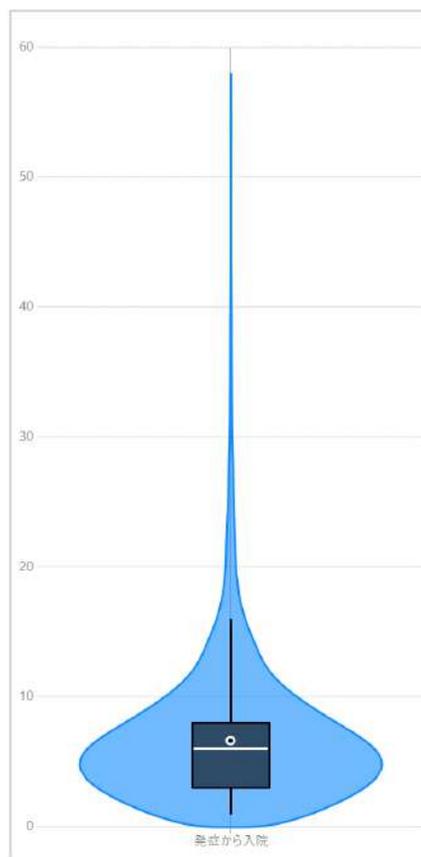
対象期間：登録開始日～9月30日

軽症：中等症・重症以外
中等症：入院中に酸素が必要であった症例
重症：入院中に挿管・ECMO（体外式膜型人工肺）が必要であった症例

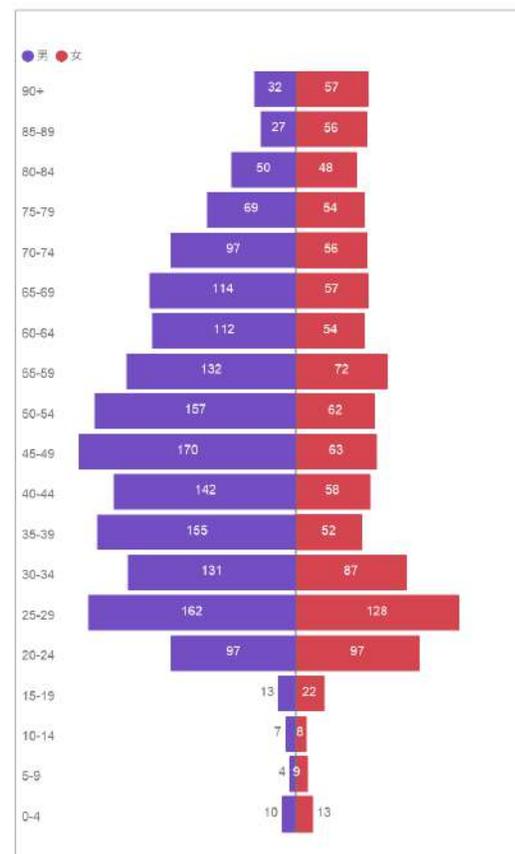
新型コロナウイルス感染症の入院患者の臨床的特徴（東京都）

- ・発症から入院までの日数は、中央値6.0日(平均6.6日)であった。
- ・年齢別男女登録数は、30代から70代までは男性が多く、80代以降は女性が多かった。

発症から入院までの日数



年齢別男女登録数



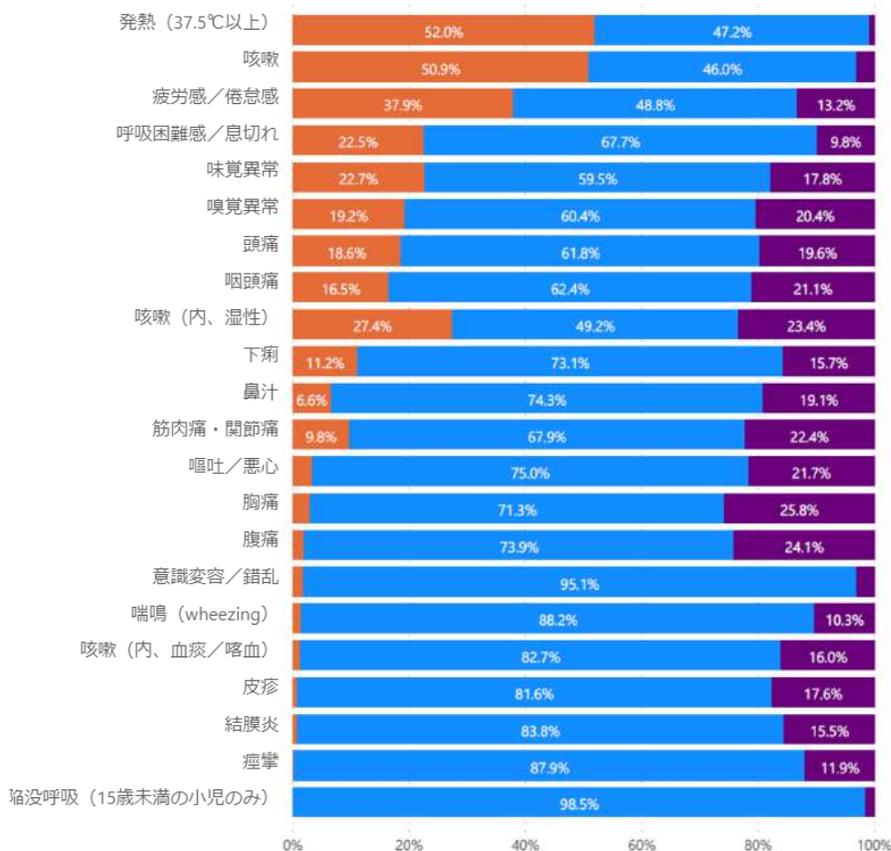
対象期間：登録開始日～9月30日

新型コロナウイルス感染症の入院患者の臨床的特徴（東京都）

- ・症状は、発熱および咳嗽を約半数に認め、倦怠感、呼吸困難、味覚異常、嗅覚異常、頭痛、咽頭痛などを認めた。
- ・併存疾患は、高血圧、糖尿病、高脂血症が主であった。

症状の登録割合

●あり ●なし ●不明



併存疾患の登録割合

●あり ●なし

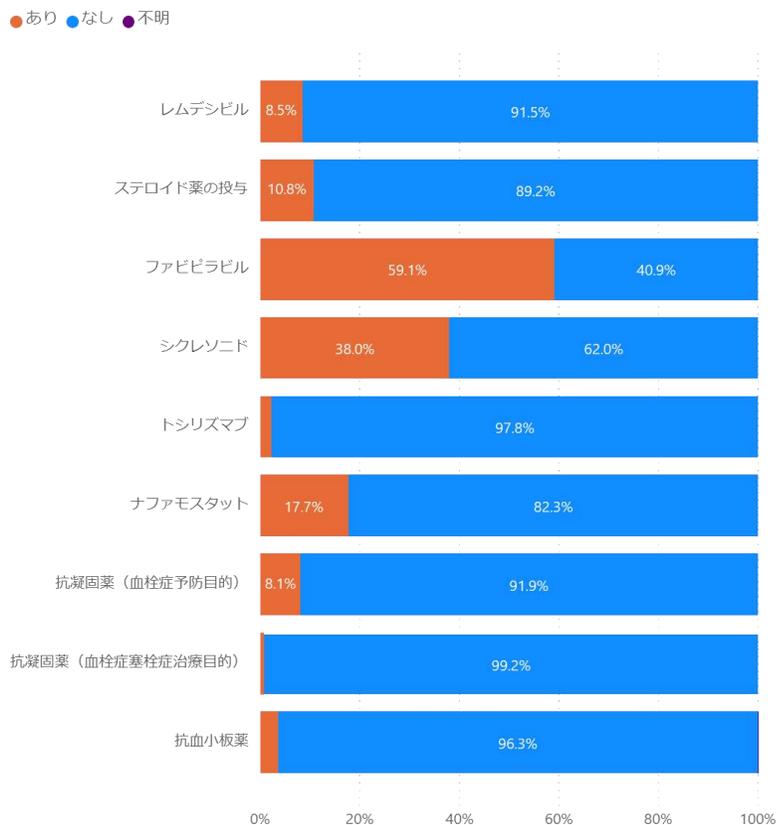


対象期間：登録開始日～9月30日

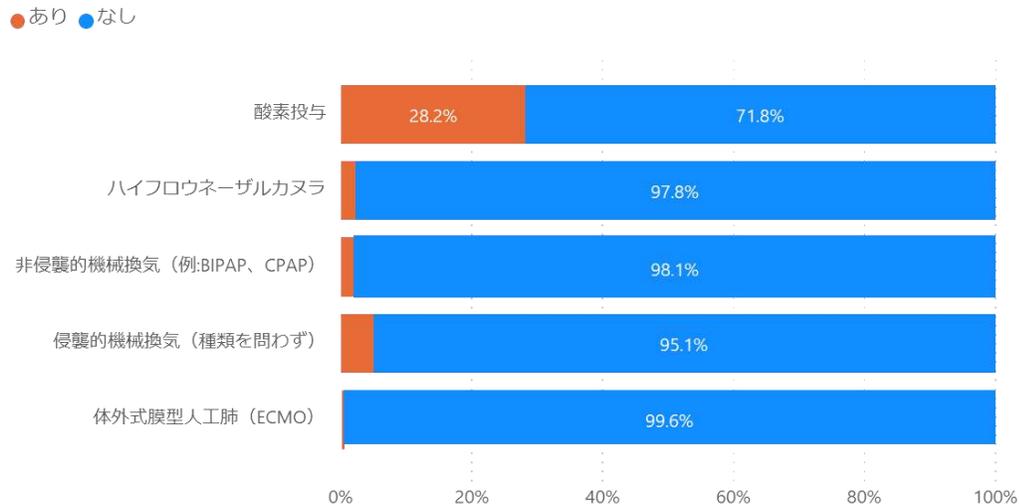
新型コロナウイルス感染症の入院患者の臨床的特徴（東京都）

- COVID-19治療目的での薬剤投与は、ファビラビル、シクレソニドを中心に、ナファモスタット、全身ステロイド薬、レムデシビル、抗凝固療法が使用されていた。
- 呼吸補助治療として、28%に酸素投与、5%に人工呼吸器、0.4%に對外膜型人工肺（ECMO）が使用された。

COVID-19治療目的での薬剤投与の登録割合



呼吸補助治療の登録割合



入院時現在の喫煙割合



第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都・概要）

第1波

対象期間：登録開始日～5月31日

登録数 1,287

男性登録数 798

女性登録数 487

不明・その他 2



第2波

対象期間：6月1日～9月30日

登録数 1,503

男性登録数 912

女性登録数 587

不明・その他 4

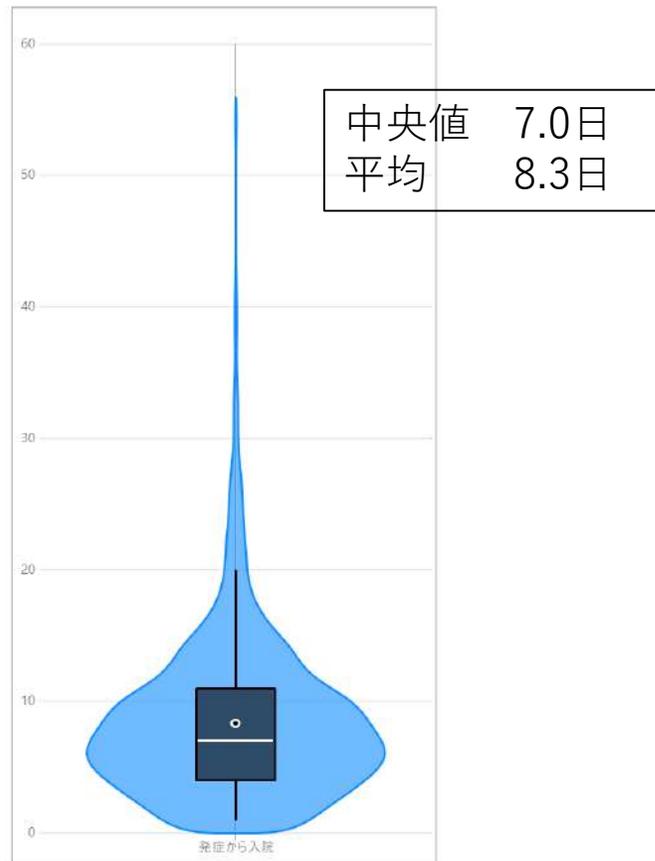


第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都）

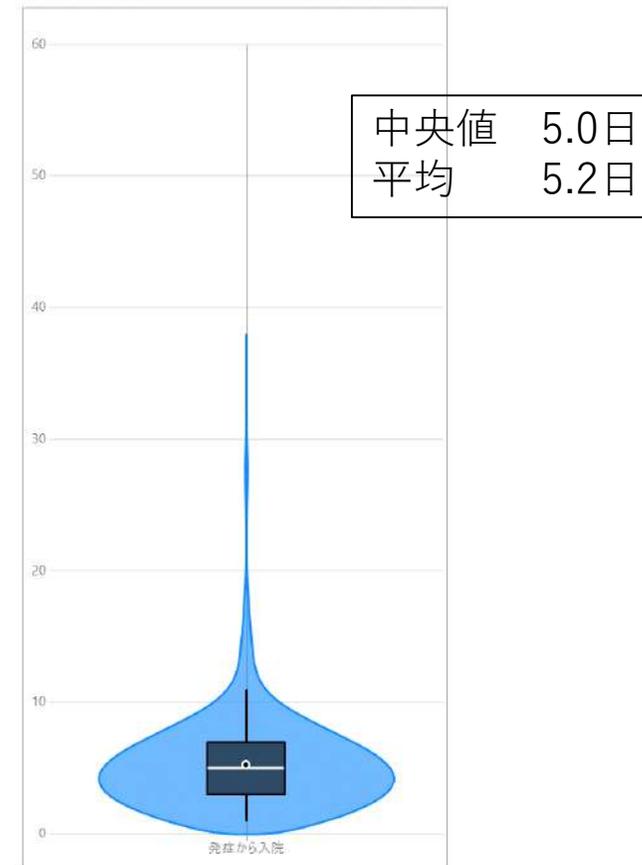
- ・発症から入院までの日数は、第2波で短縮されている。

発症から入院までの日数

第1波



第2波

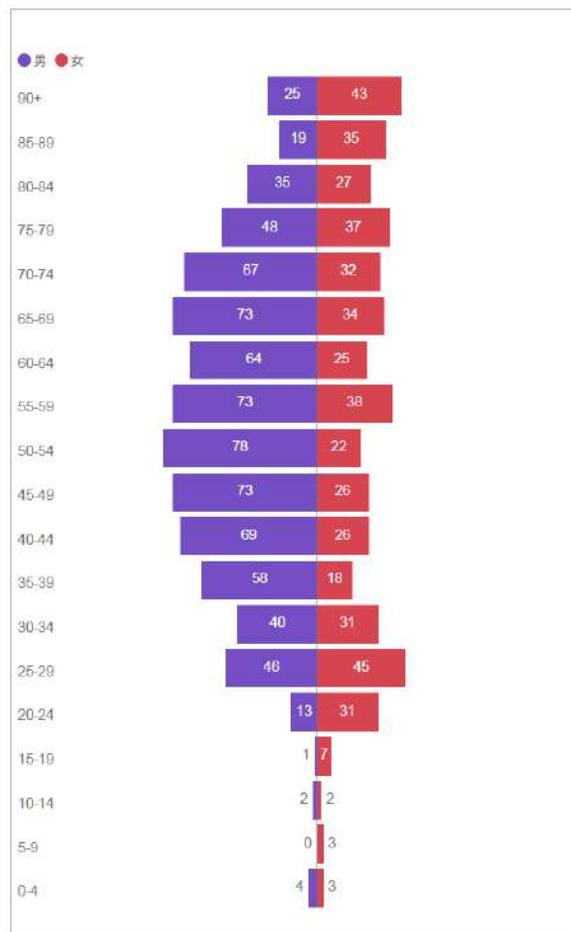


第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都）

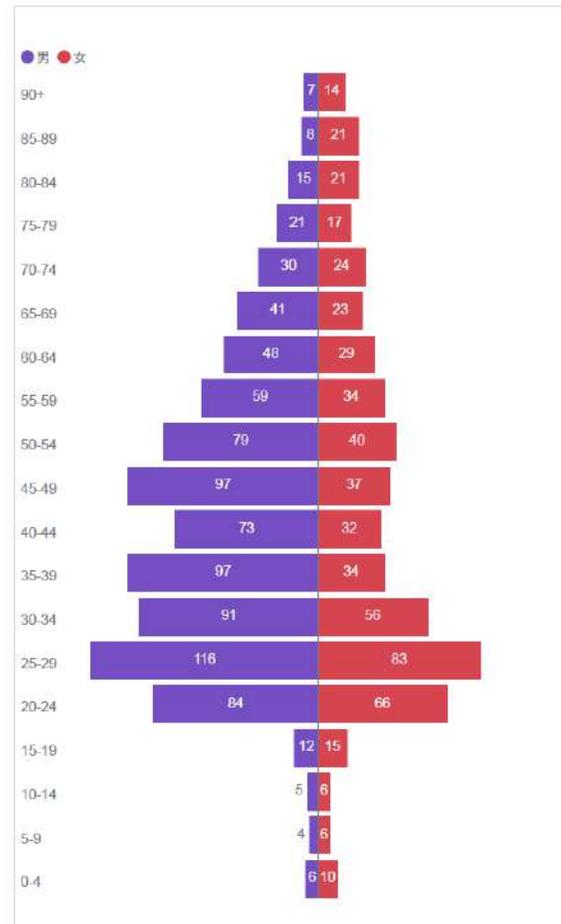
- ・ 年齢別男女登録数は、第2波は高齢者患者が減少し、中年・若年男性患者および若年女性患者が増加している。

年齢別男女登録数

第1波



第2波

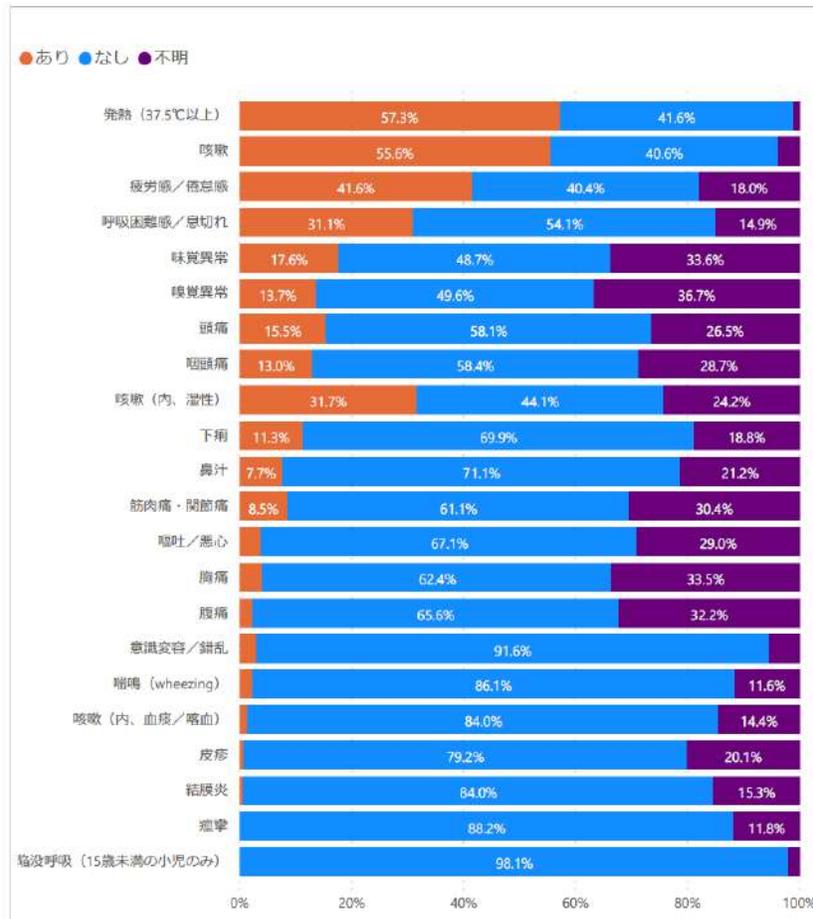


第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都）

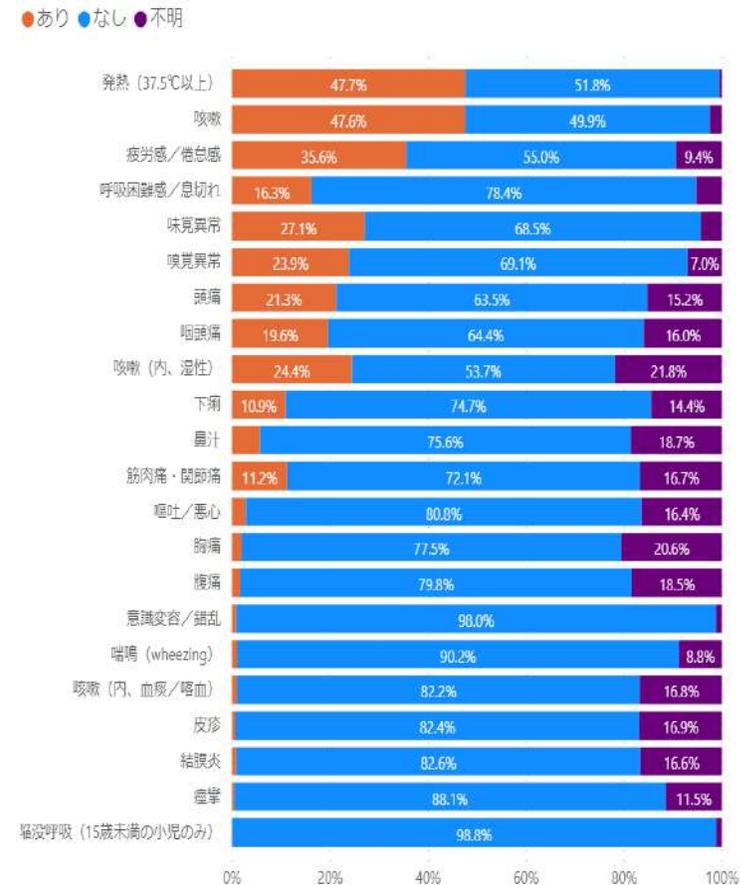
・症状は、第2波では呼吸困難感が少なく、味覚異常、嗅覚異常、頭痛、咽頭痛を認める患者が多かった。

症状の登録割合

第1波



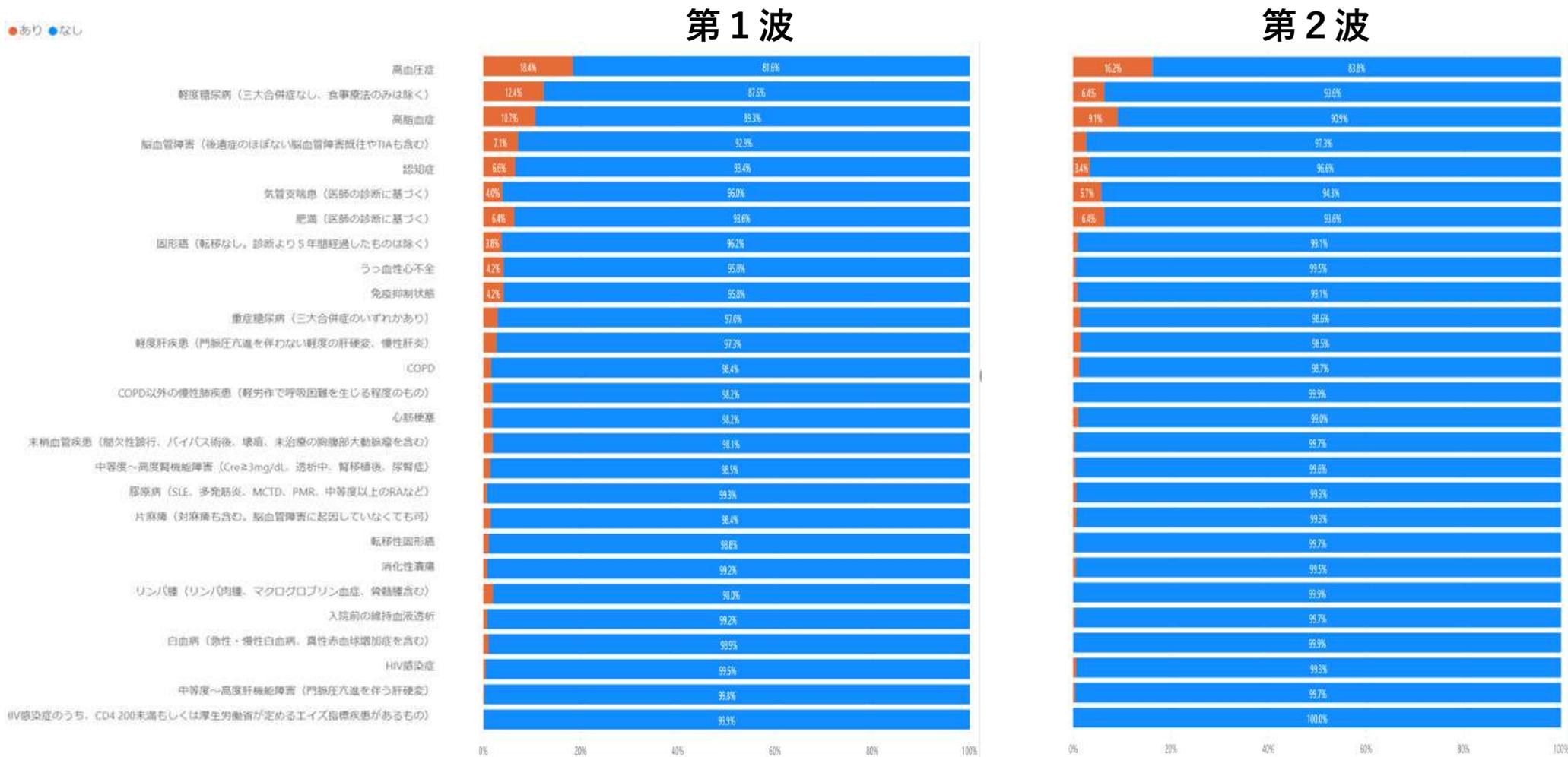
第2波



第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都）

- 第2波では、全体に併存疾患が少なく、特に糖尿病や脳血管障害、認知症の割合が低かった。

併存疾患の登録割合

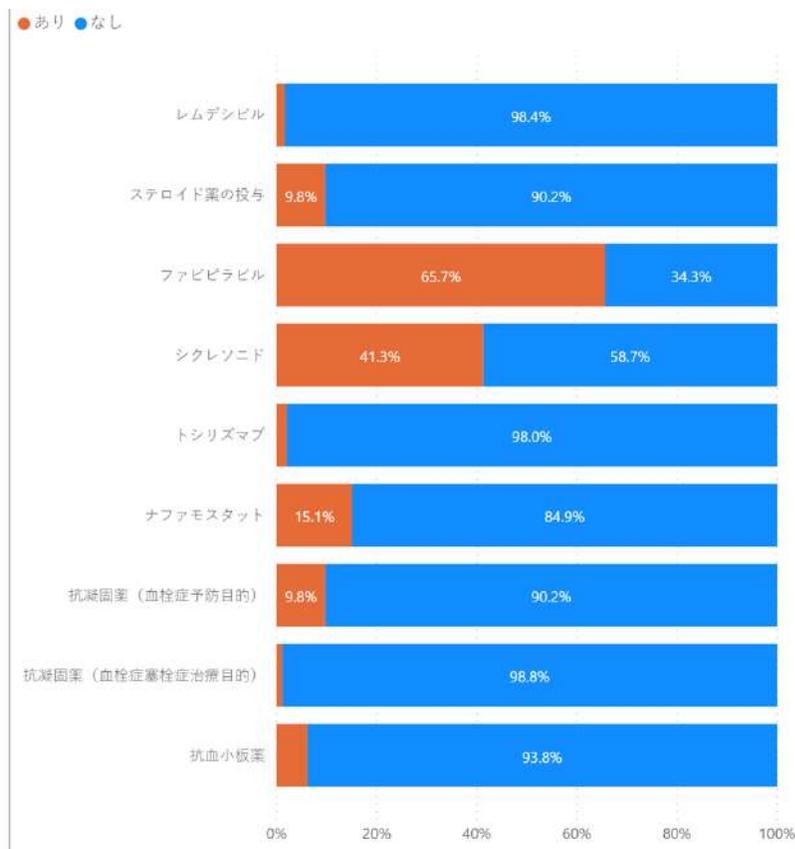


第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都）

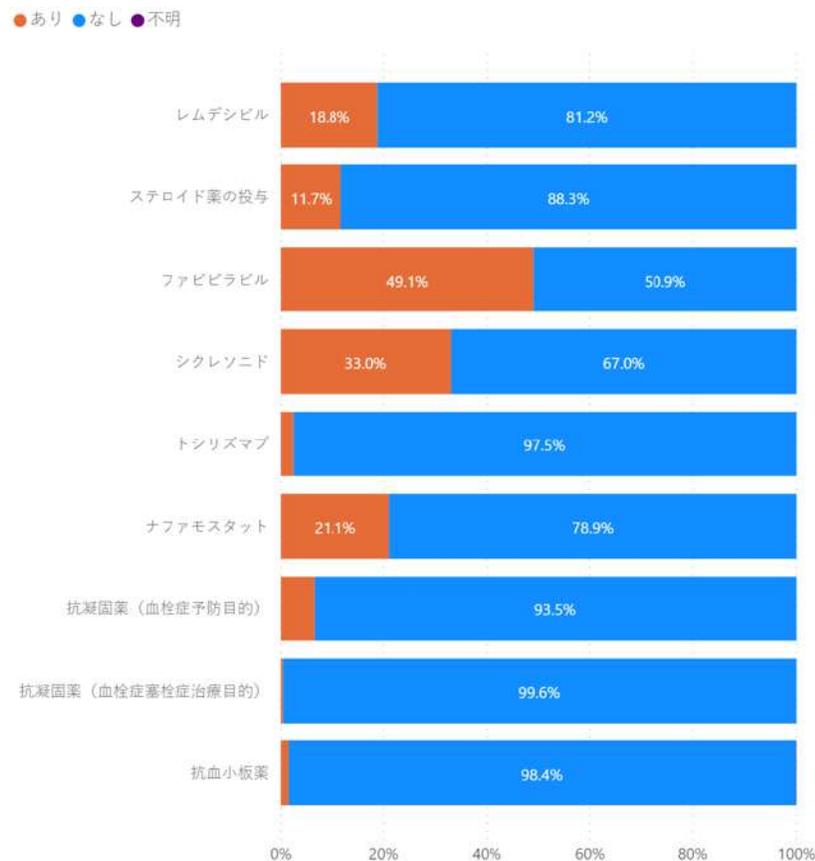
- 第2波ではファビピラビル・シクレソニドの使用が減少し、レムデシビル、ステロイド全身投与、ナファモスタットの使用が増加した。

COVID-19治療目的での薬剤投与の登録割合

第1波

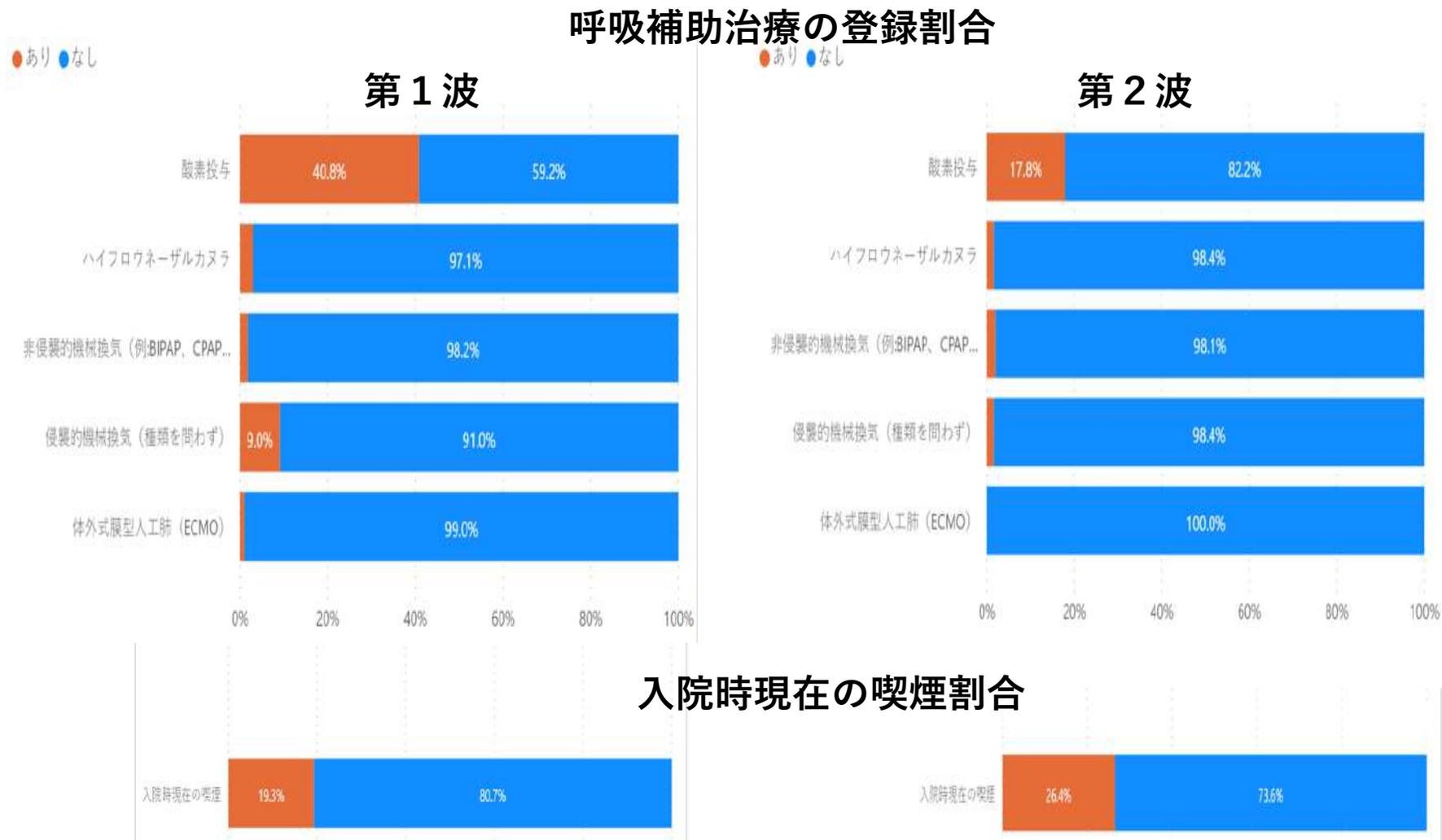


第2波



第1波、第2波の臨床学的特徴（東京都）

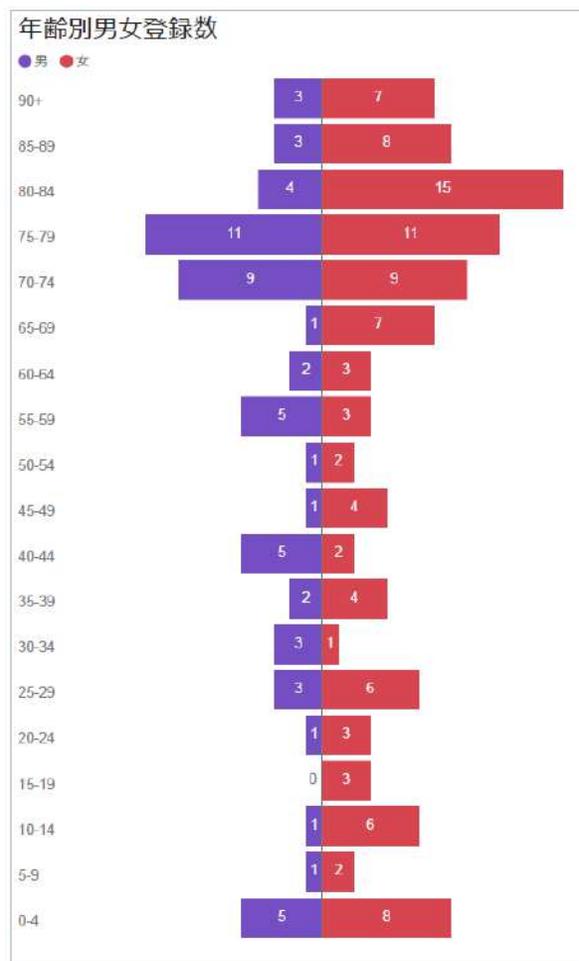
- 第2波では、酸素投与および人工呼吸器管理患者は減少した。



入院時無症状者の臨床学的特徴（東京都・概要）

- ・無症状者の入院は、高齢者および乳児に多かった。
- ・併存疾患は、高血圧、糖尿病、高脂血症に加え、認知症、脳血管障害を認めた。

登録数 177 男性登録数 67 女性登録数 110

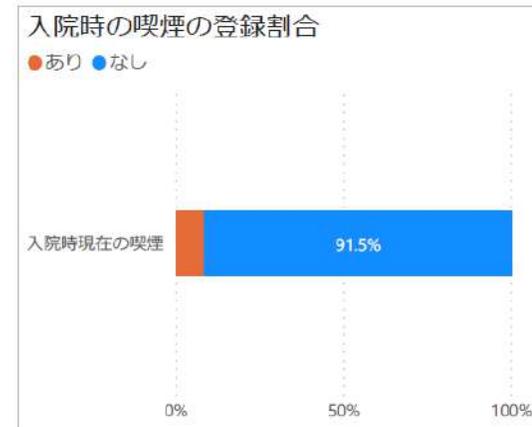
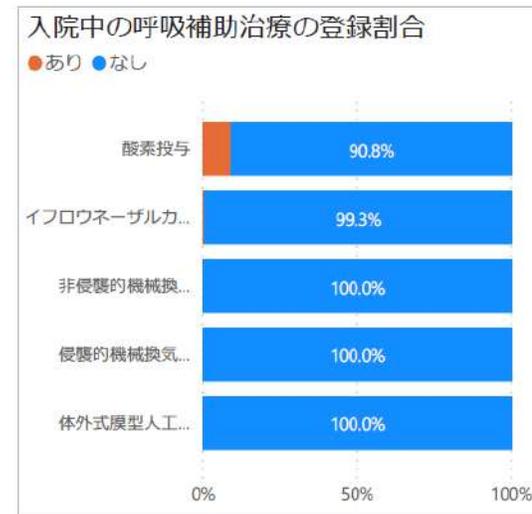
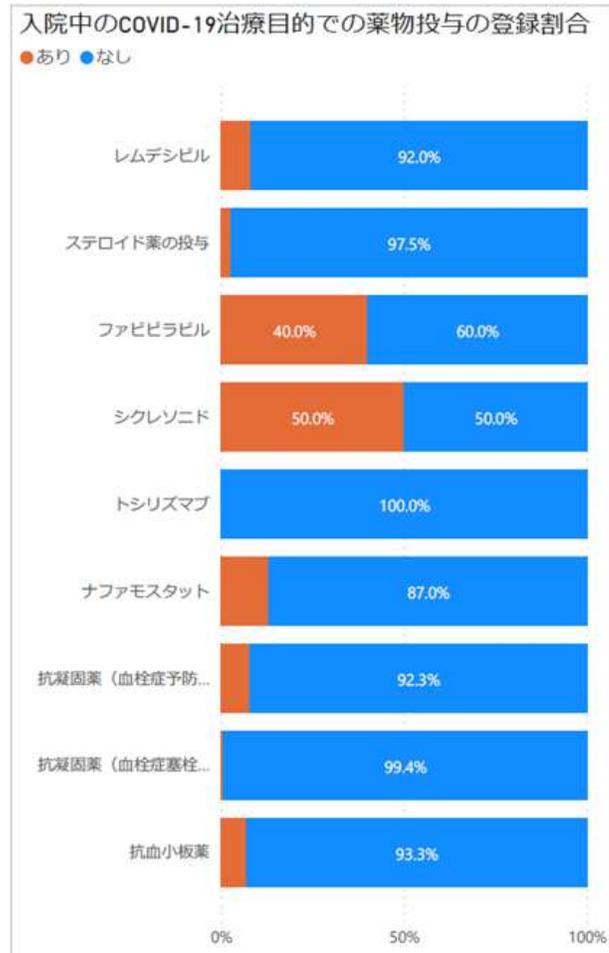


対象期間：登録開始日～9月30日

入院時無症状者の臨床学的特徴（東京都・概要）

- ・ COVID-19治療目的での薬剤投与は、ファビピラビル、シクレソニドを中心に使用されていた。
- ・ 酸素は約10%に投与されたが、人工呼吸管理に至った症例は認めなかった。

登録数 177 男性登録数 67 女性登録数 110

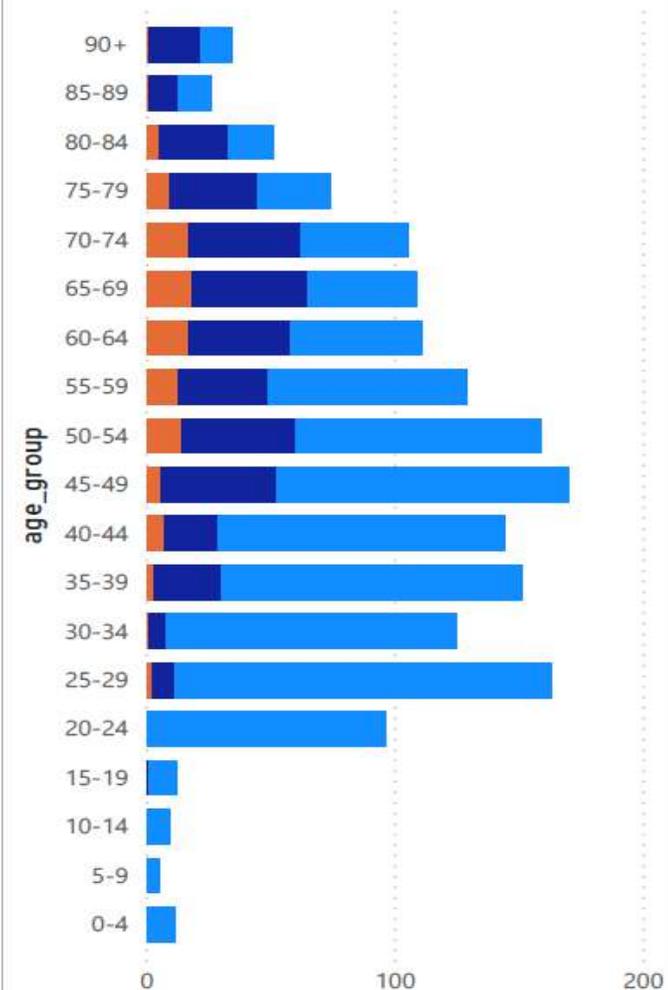


対象期間：登録開始日～9月30日

年齢別男女別重症度（東京都）

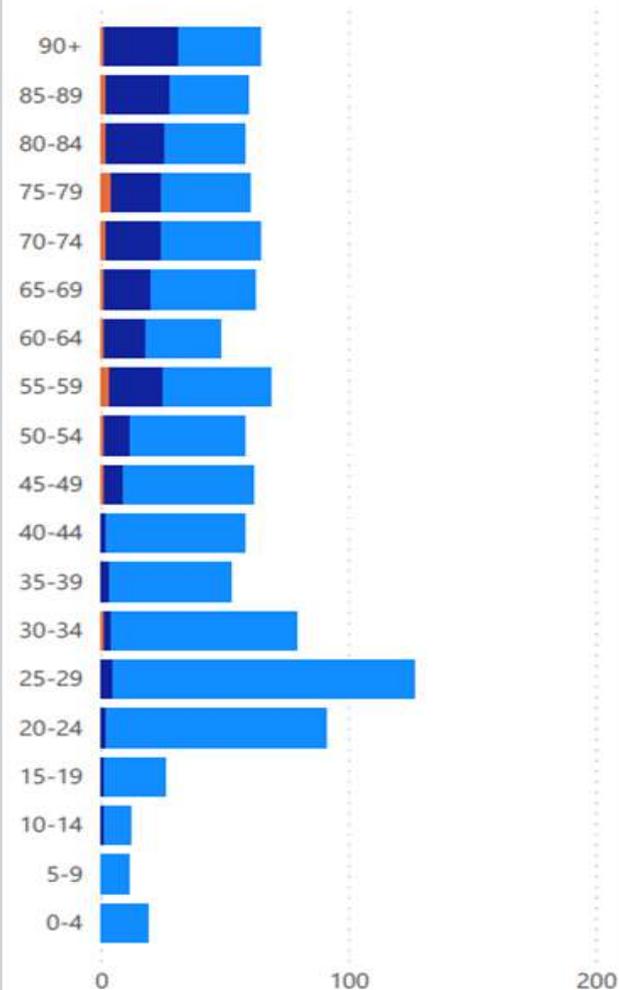
男性登録数

重症度 ●重症 ●中等症 ●軽症



女性登録数

重症度 ●重症 ●中等症 ●軽症



- ・女性に比べて男性が重症・中等症の割合が高かった。
- ・男性の30代後半から中等症・重症患者が増加していた。
- ・男性の75歳から重症患者割合は低下傾向にある。
- ・20歳未満の患者で重症者は認めなかった。

* 基礎疾患の重症度などについては考慮されていない